

# 深谷にぎわい工房

## ニュース No. 2

2002年2月号

発行日：2003年1月29日（隔月発行）

発行所：特定非営利活動法人 深谷にぎわい工房  
中山道オフィス 〒366-0822 埼玉県深谷市仲町1-13  
（中山道仲町交差点近く「活性化サロン一休」内）

メール：owner-fnk@freeml.com

ホームページ：http://www.geocities.co.jp/

HeartLand-Cosmos/1107/fnk/

「深谷にぎわい工房」は、地域社会における生活の質の向上と活性化に貢献するために、まちづくりに関する調査・研究の実施、情報受発信、セミナーやイベントの開催、政策提言等を行うNPO（Non-Profit Organization：非営利組織）です。

### 早春の野の香と味をめぐるツアー

大好評だった第1回深谷地酒蔵元ツアーに続き、今回は丸山酒造の酒蔵見学と新酒の味わい、清水川ビオトープ散策などのツアーを行います。

●3月8日(土) 10:00 深谷市役所集合（予定）

（ツアーの終了時間は14:30頃）

### 「カキコまっぷ」実験がスタート！

深谷にぎわい工房は、国土交通省、総務省、経済産業省の3省の連携で実施されている「GIS等を活用した地域の活性化に関する調査」に参加しています。「カキコまっぷ」と呼ばれるインターネット上の書き込み地図型の掲示板を実験的に活用して、深谷の中心市街地の活性化やバリアフリー化、深谷の自然資源やお散歩ルートに関する情報を収集・蓄積・更新・提供し、将来のまちづくりの提案につなげます。

<http://www.geocities.co.jp/>

HeartLand-Cosmos/1107/fnk/

### 深谷TMOウェブ・サイトがオープン

深谷TMOのウェブ・サイトがオープンしました。「イベント情報」「深谷でお買い物」「空き店舗対策事業」「深谷TMOについて」のコーナーがあります。深谷TMOウェブ・サイトの開設・更新には深谷にぎわい工房が技術協力しています。

<http://www.fukaya-tmo.com/>

### NPO設立記念パーティー（報告）

12/19(木)の夜、活性化サロン「一休」にて「NPO法人 深谷にぎわい工房 設立記念パーティー」が盛大に開催されました。深谷市役所、深谷市議会、深谷商工会議所、地元各商店街、都市マスタープランまちづくり協議会、その他の大勢の皆様にお越し頂き、下妻さん（深谷TMO）、塩野谷さん（深谷市役所収入役）、柿沼さん（仲

町自治会長）、竹石さん（NPO法人市民シアター・エフ）、宮沢さん（深谷市議会議長）をはじめ、たくさんの方々から祝福そして激励のお言葉を頂きました。ありがとうございました。



### 文部科学省生涯学習まちづくりモデル支援事業

### 深谷中心市街地のための都市再生シンポジウム（報告）

1/25(土)に埼玉グランドホテル深谷にて、2002年度文部科学省生涯学習まちづくりモデル支援事業の一環で「深谷中心市街地のための都市再生シンポジウム」が開催されました。

コーディネーター&講師として日本政策投資銀行地域企画部調査役の藻谷浩介氏をお招きし、中心市街地の街歩きを行った後、「デフレ経済における中心市街地の再生」というテーマでご講演頂きました。

講演では、深谷市や埼玉県、日本全体の人口動態と将来人口予測のデータをもとに、



●少子高齢化はどの都市においても避けられない問題で、今後は、それに伴い、車、土地・建物など様々なものの需要が減ってくる、

●戦後の人口増加や団塊の世代が経験した成長こそが特殊であって、現在の需要低下は不景気のためではなく、人口が減っていることが原因、

●その中で、特に土地デフレ対策に関してみれば、容積率をフル利用するなどの考え方は未利用の空地を生むだけで、街がゴーストタウンになるのは目に見えている、  
というお話がありました。

また、ビデオや写真により、全国の中心市街地再生の成功事例・失敗事例の紹介がありました。

●成功していて面白い街では、建物の中身が面白く、地権者が若者なども借りられるような安い賃料で土地・建物を貸しており、熊本や佐世保市は、その良い例である、

●逆に失敗している事例というのは、区画整理をやった結果、街から雰囲気の良いものがなくなっている、  
とのことでした。

行政の本来の仕事は福祉・教育で、行政がまちづくりをするのではない。面白い街にするためには、TMOやNPOが、「損して得取る」姿勢を持つ地権者の土地・建物を安い賃料で有効利用することが必要ということでした。

大変貴重なお話を伺いました。今後、講演録も作成される予定です。詳しくは、2002年度文部科学省生涯学習まちづくりモデル支援事業（埼玉県深谷市）のウェブ・サイトをご覧ください。

<http://www.fukaya-tmo.com/model/>

## 会員自己紹介コーナー

本号から、深谷にぎわい工房の会員が2名ずつ、自己紹介をします。

### ●松本 博之（まつもと ひろゆき）理事長 「まちづくりは人づくり」

こんにちは、理事長の松本博之です。平成13年秋のある日、まちづくり協議会後の居酒屋での「まちづくりNPOを作りましょう。」という一言が災い？となり、理事長という大役を務めることになりました。



これまで同じ深谷市内に住みながら挨拶さえしなかった皆さんとまちづくり活動をしているのも、何かの縁でしょうか。そうですね、地縁でも

血縁でない、同じ志をもった人達との「志縁」の集りとも言いましょうか。

深谷の生活街は厳しい状況ではありますが、この「志縁」を大切にして、可能なものから一歩ずつ皆さんと力合わせ、名前ように深谷の生活街のにぎわいがもどるように活動をつづけていきたいと思っています。

それにまちに住む人、来る人、まちを愛する人、そしてまちづくりをする人、それを応援する人など、まちにかかわりを持つ人を増やしていきたいと思います。人の生活するまち、まちづくりとは「ひとづくり」と考えるからです。そしてもうひとつ確信を持って言える事、まちづくりには決して終わりが無いということです。これからもよろしくお祈りします。

### ●片田 宏子（かただ ひろこ）理事 「深谷市の街づくりに関わって」

平成十三年三月末に市役所が市民を公募してまちづくり協議会が発足しました。その時私も応募しまもなく中心市街地活性化班に入り及ばずながら中心市街地が賑わいを取り戻して欲しいとの願いから活動に関わって来ました。昔からの中心市街地がその土地固有の文化の香りを持つ街になって欲しい、外部から来た人にも明るく華やぎのある又来てみたいと思う街になって欲しいというのが私の願いです。都市というのは人がいきいきと生活をしたり、又、消費したり、いろいろな人が行う営みが調和して楽しく魅力ある都市空間を作ることが人がたくさん集まって来るのではないかと思います。一月二十五日に行われた藻谷浩介氏の講演でも現在ある建物を活用し安く貸しそこで商売をした所賑わって来たというお話がありました。行政、東大の方の協力を得て街が再生される事を願っております。



## 会員募集中

深谷にぎわい工房では、現在、会員を募集しております。会員の皆様には、ニュース・レターの送付、メール・マガジンの配信、メーリング・リストへの登録、セミナーやイベントの参加費割引、各種事業（自主・受託・助成）への参画案内、会員のまちづくり活動へのサポート等のサービスを提供いたします。詳しくは活性化サロン「一休」またはホームページにて。

### ●年会費

正会員	個人会員・団体会員	5,000円
賛助会員	個人会員	2,000円を1口以上
	団体会員	2,000円を5口以上